

山の辺の道 南へ <活動記録>

緊急事態宣言解除の初日にそら組の活動が再開しました。秋晴れとはいいがたい雲の多い空模様でしたが、雨にはならず良いハイキング日和でした。 担当：1班

日 時： 2021年10月1日(金) 曇り

集 合： 近鉄天理駅前広場 午前10時 参加人数： 77名

行 程： 駅前広場で軽く準備運動をして、2班から班ごとに出発。長いアーケードの商店街を抜け、天理教の建物を見ながら、石上神社へ。境内で水本さんのお話を聞き、11時に山の辺の道へと進みます。稲穂や柿の実の秋景色と無人販売を愉しみながら内山永久寺跡を過ぎ、ちょうど12時頃昼食場所の夜都伎神社へ着きました。昼食を取り班長会議も実施し13時に出発。竹ノ内環濠集落を経て、柿本人麻呂歌碑では水本さんのお話と歌の朗詠がのどかな景色に溶け込みました。ここで集合写真を撮り、その後、6班からの出発に変更しましたが、徹底せず混乱してすみませんでした。

さらに南へ歩き長岳寺を拝観し、15時頃黒塚古墳で解散、三々五々柳本駅へ。自粛明けには長い9kmの道でしたね。皆さんお疲れ様でした。



ヒレタゴボウ



カラスウリ



マメアサガオ

新人所感： 久しぶりに田舎道を歩き、子供の頃を思い出しました。

久しぶりの開催で里山風景も見られて、いろいろ歴史を知ることができた。

久しぶりの活動、思い出の地・天理、感無量でした。

長期に休んだ後の足慣らしに良いコースでした。

皆さんに声をかけてもらってうれしかった。